



沖田ゆかり議員

熊野東中学校入口交差点▶



Q 通学路の整備 (熊野東中学校入口交差点)

A 県道危険箇所として
改良の要望を行う (上馬場建設部長)

また、広島県西部建設事務所において来年度の要望事業のヒヤリングがあったため、本地区を町内の県道危険箇所として、改良の要望を行っている。

熊野東中学校入口の県道矢野安浦線交差点においては、特に朝の通学時に信号待ちをする自転車通学の生徒が、県道の歩道に入りきれないため、接続する町道の中に広がるなど、危険な状況にある。

県道の歩道部において待避スペースを確保する工事については、広島県西部建設事務所が窓口となっているので、早急に整備してもらうよう、県と協議を行っている。

熊野東中学校入口交差点では、自転車通学の生徒が町道に広がって信号待ちをしている。待機スペースの確保はできないか。



Q 今後の農業政策



佛圓大源議員

A 計画に沿った事業を展開し、必要に応じて
計画の見直しを検討したい (横山都市整備課長)

耕作放棄地は、昨年度調査を行った結果、官有地等を除く農地の19・6%であった。農業従事者の高齢化、後継者不足が主な原因と考えられるため、新たな担い手の育成や、農業外企業の参入誘導などの方策に取り組みでいきたいと考えている。

熊野農業振興地域整備計画(昭和63年策定)は、農業振興の基本構想などを策定するもので、町内の2千9haを農業振興地域に定めている。今後は、地域ごとの特性を生かした農産物の生産、農業経営規模の拡大や農用地の効率的な利用促進を図り、必要に応じ、町の農業政策と農家の方の意見をふまえて見直しを検討したい。

農業振興地域の現況と見直し及び、耕作放棄地の現況と再生について伺う。

佛圓大源議員



▲図書館に設けた「うちどくコーナー」

Q うちどく事業の実施状況

A 学校や公民館等で様々な工夫をしている
(柴原生涯学習課長)

今後も、家庭内のコミュニケーションを深め、言葉の力を高めるため継続していきたい。

教育委員会としても、学校や担任を支援するため、講演会を開催したり、先進的・具体的な取り組みを学ぶ研修も実施する。また、町内全ての公民館・図書館で「うちどくコーナー」を設けている。

最近の集計では、一度も休むことなく続けている家庭が小学校16・5%、中学校21・5%で、この中にはクラスでほぼ100%という事例もある。また、7割程度の実施という家庭も、小学校28・1%、中学校32・9%あり、学級文庫の充実や先生からの声かけなど、各学校で様々な工夫をしている。

各学校・公民館における「うちどく」の実施状況は。

民法正則議員



▲平成33年に無料開放予定の熊野トンネル

Q 熊野トンネルの無料化

A 今後の通行車両の動向に十分注視する
(森本建設部次長)

今後の通行車両の動向に十分注視し、状況に応じて利便性向上に向けた要望活動を続けていきたい。

非常に困難である。もう一本トンネルを掘削する熊野トンネルの4車線化については、現在計画はなく、現行の通行車両台数では難しいと聞いている。また、トンネル料金の変更については、国の認可が必要となり、これまで色々と取り組んだ経緯もあるが、

平成25年度に国道2号東広島バイパスが瀬野地区まで延伸予定、平成26年度には東広島自動車道が開通予定で、これらの整備により、町内の交通量が減少すると考えられる。

熊野トンネルの無料化により渋滞が予想される。もう一本トンネルを掘るか、料金を100円程度にしてはどうか。